The Wheel Climax

ザ ホイールクライマックス

足もとを極めれば愛車が変わる。

文：神原 久(本誌)／写真：玉井 充

第02回

ヘリテージモデルが復活『O･Z ラリーレーシング』

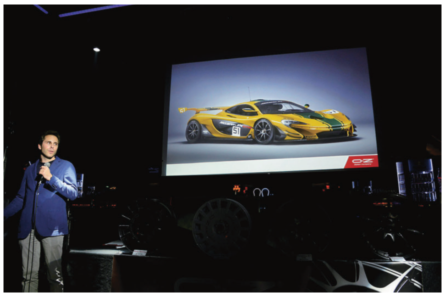
イタリアンスポーツホイールの新たな名品が、2タイプ登場。「O・Z」伝説の復活とともに、新たな1ページの開幕を告げる。

クラブパーティというユニークなスタイルでの新製品プレゼンテーションは、今年で3回目となるイタリアンホイールブランド「O•Z（オーゼット）」。その舞台となったのは、東京港区西麻布のクラブ「A-LIFE（エーライフ）」。3つのフロアを合わせると六本木エリア随一のキャパシティを誇るナイトクラブで、新たなラインナップを発表した。

メインステージとなったのは、エーライフ地下1階の「A-STUDIO」と名付けられたダンスフロアだ。収容人数800人を謳うビッグスペースだが、そこに大型モニターと製品展示、観客席が配置されている。パーティのスタートに先駆けて、まずはここでプレゼンテーションが行われた。

冒頭、O•Zジャパン株式会社 代表取締役社長の内山昌弘氏が「今回のイベントを通じてO•Zの世界観を実感し、セールスにつなげてほしい」とあいさつ。続いて本国のO・Zから日本を訪れているビジネスデベロップメントマネージャー、アンドレア・ベルノーニ氏がO•Zのブランド力の秘密と新製品ついて解説した。

「Welcome to O•Z」のコピーとともに始まった



OEMスペシャルパートナーとして、マクラーレンやアルピナ、ロールス、などなど、多くのブランドとも蜜月関係にある。

2012年から「スクーデリアフェラーリ」とパートナーシップを結んで、ホイールを供給している。レプリカホイールも市販。

新製品プレゼンテーションが終わってから、本格的なパーティタイムに突入。数々のMCバトル大会を制してきた人気ラッパー「DOTAMA（ドタマ）」（上の写真中央左）と「ACE（エース）」（同中央右）が、ラップバトルを繰り広げた。内山社長（右の写真）も実に楽しげな表情だ。

ラリーファン垂涎のレプリカとGT3譲りのスポーツホイール

プレゼンで印象的だったのは、世界のモータースポーツシーンにおけるO•Zブランドの強さだ。レースに対するサポート活動をスタートしたのは1984年だと言うが、世界格式のカテゴリーも含めて、その装着率は驚くほど高い。

たとえばF1GPでは現在、11チーム中6チームにホイールを供給、WRCに至っては100％の装着率を誇るという。WTCCやGRC（グローバルラリークロス）、インディカーにも積極的に展開を図る。近年では電気の力による「フォーミュラE」のほとんどがO•Zユーザーなのだそうだ。

一方で若年層向けのモータースポーツ活動にも積極的に取り組んでいる。全日本学生フォーミュラ選手権には2012年から供給を始め、現在では16チームに協力しているとのことだ。

そんなモータースポーツシーンで活躍した名作ホイールが、新たな意匠をまとって復活した。「The Timeless I-Con is Reborn」のキャッチコピーとともに登場したのが、ラリーファンにとっては圧倒的なインパクトを誇るホイール「Rally Racing（ラリーレーシング）」だ。

好感度の高いブランドのヘリテージモデルとして、イタリア本国でも大人気だという。跳ね石や土埃などからブレーキを守るための大型ディッシュデザインが特徴で、グラベルロードでの高性能イメージをアピール。ロードレーシングの世界観とは違うベクトルで、アグレッシブなスポーティ感が愛車の足元を演出する。

一方、今回のイベントでお披露目されたもう1本の新作「Hyper GT（ハイパージーティー）」は、まさにサーキットでのコンペティションシーンを強くイメージさせる血統の持ち主だった。FIA-GT3マシン用にデザインされた鍛造1ピースホイールの名品「Forgiata GT（フォージアータ ジーティー）」の兄弟モデルとして、より身近なプライスタッグを掲げてのデビューだ。

「フローフォーミング」と呼ばれる成形技術を取り入れ、素材としての強度を向上させているのが特徴。軽量・高剛性なだけでなく、インナーリム形状を採用するなど、コーナリング時の速さやトータルバランスに優れている。欧州車だけでなく、国産車にも似合いそうなデザインだ。

プレゼンの後、人気ラッパーやダンスパフォーマーたちのステージで、会場はますます盛り上がった。中でもラッパー ACEとDOTAMAによるMCバトルでは、辛口リリックが飛び交う中に、しっかり新製品のPRも絡められていたところが面白い。単なる発表会ではなくこうしたクラブナイト風のイベントを盛り込んだ演出は、内山社長の「世界観を感じてほしい」という狙いを、スタイリッシュに見せつけてくれたように思う。

O•Z Rally Racing
<オーゼット ラリーレーシング>
17×8J～19×8.5Jまでラインナップ。価格帯は52,920～79,920円。

O•Z HyperGT
<オーゼット ハイパージーティー>
18×7J～19×10Jまで対応。価格帯は76,140～99,990万円だ。

http://www.oz-japan.com/